

冬季研修講座

「基礎から学ぶ LGBTQと SOGI
子どもたちからのメッセージ」

～ LGBTQと SOGI・性の多様性の受容と、社会的な課題の解決に向けて～

SOGI-Mamii's代表 高橋愛紀 氏を講師に、「基礎から学ぶ LGBTQと SOGI 子どもたちからのメッセージ」と題して、登別市民会館会場とZoomでのハイブリッド形式で講座を行いました。当日は、約40名の先生方が参加され、講義を通して研修を深めました。

自分の息子がトランスジェンダーであることを受け入れた経験や、性の多様性に対する理解を深める重要性、受け入れる社会を構築していくために必要なことなどについて話していただきました。また、教育現場で性的マイノリティーの児童生徒が直面する偏見や排除感についての説明や、学校が安全で受け入れやすい場所になるための話をしていただきました。



＜参加者の声＞

・LGBTQの悩みなどをもっている子たちは、この社会で生きていくために自分を隠して、バレることを恐れながら生きているのだと思うと胸が苦しくなります。どんな子でも自分の生き方を見付け、その歩みを止めずに進んでいけるようにするには、温かい社会の形成が必要だと思いました。子供が勇気を振り絞って話した内容について、大人として否定せず、受け止めることができれば…と思います。

所長挨拶

研究委託校・実践校の皆様方にはのべ18回の学校訪問にご対応いただき、ともに研究を進めることができました。所報や研究紀要への寄稿等にも協力いただき、各校の研究内容を広く発信することができました。

夏と冬の研修講座には合わせて90名の方が出席くださり、ICT・端末の活用方法やLGBTQにおける学校での対応について学び合う機会をもつことができました。機関誌には20名の先生方が寄稿くださり、多くの知恵と勇気をいただきました。ICTについての調査課題研究では、201名の先生方にアンケートに答えていただくとともに、2名の先生方に実際に活用している様子を紹介してもらいました。さらに学びについての紀要では、11名の先生方に各教科でICTを効果的に活用した実践を、3校に授業と家庭学習との連動を図った実践を紹介していただきました。

こうして皆様と一緒に、「胆振管内の教育の進展」に向けて全力で取り組みました。1年間、本研究所の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

胆振教育研究所長 野崎 均



研究紀要 (239号・240号・241号) が 発刊されました



研究紀要 第239号

研究委託校・実践校の紹介 社会教育の実践

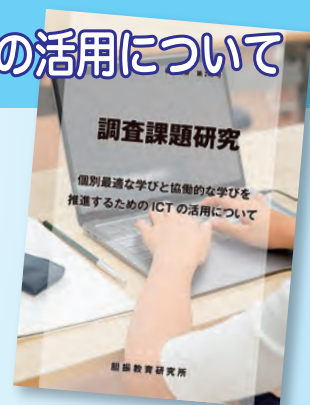
令和5年度胆振教育研究所の研究委託校・実践校の研究概要並びに社会教育の実践を紹介しています。各校の具体的な研究内容や研究の成果、今後に向けての課題などについてまとめています。先生方には、本研究紀要の研究委託校・実践校の研究内容を参考にされ、自校の研修に役立てていただければ幸いです。



研究紀要 第240号 調査課題研究

個別最適な学びと協働的な学びを推進するためのICTの活用について

胆振管内でICTがどの程度活用されているのか、各学校のICT環境の整備がどの程度進んでいるのかについて、アンケートで調査した結果をまとめています。また、ICTを活用した特色のある実践や活用方法の実践例も紹介しています。本研究紀要を各校のこれからの授業実践に役立てていただければ幸いです。



研究紀要 第241号 教育理論に関する研究

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり

今年度は研究主題「個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり」の3年次として、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた実践についてや、授業と家庭学習との連動を図る実践などについてまとめています。本研究紀要を、校内研修をはじめ、先生方の授業改善の参考資料としてご活用いただければ幸いです。

